

# 図書だより



## 2020年9月 第2号 生野高校 図書部

分類	書名	著者名	出版社
007.5	やりたいことを全部やる！メモ術	臼井 由紀	日経ビジネス文庫
019	理学博士の本棚	鎌田 浩毅	角川新書
019.12	マンガでわかる東大読書	西岡宥誠ほか	東洋経済新報社
105	現代思想 2016年10月号 未解決問題集	黒川 信重	青土社
123.83	一億三千万人のための『論語』教室	高橋 源一郎	河出新書
141.5	メタ思考トレーニング	細谷 功	PHP ビジネス新書
159	メシが食える大人になる！よのなかルールブック	高濱 正伸	日本図書センター
159.4	すべての仕事は「肯定」から始まる	丸山 俊一	大和書房
209	危機と人類（上・下）	ジャレット・ダイヤモンド	日本経済新聞出版社
210.04	景観からよむ日本の歴史	金田 章裕	岩波新書
222.06	シリーズ中国の歴史⑧ 「中国」の形成	岡本 隆司	岩波新書
289	世界史リブレット人 88 ムッソーニ	高橋 進	山川出版
302.03	イスラームからヨーロッパをみる	内藤 正典	岩波新書
304	コロナ後の世界を生きる	村上 陽一郎編	岩波新書
316.8	レイシズム	ルーネ・ベネディクト	講談社学術新書
336	イシューからはじめよ	安宅 和人	英治出版
336.4	雑談の一流、二流、三流	桐生 稔	明日香出版社
336.55	コクヨの結果を出すノート術	コクヨ株式会社	三笠書房
367.3	街場の親子論	内田樹・内田るん	中公新書ラクレ
404	「役に立たない」科学が役に立つ	エイブラム・フルクサー他	東京大学出版会
410	大学への数学 2020年4月～9月号	横戸 宏紀編	東京出版（雑誌）
410	数学オリンピック事典（基礎編・演習編）	野口 廣監修	朝倉書店
410.78	数学オリンピック 2015～2019		日本評論社
480	ざんねんないきもの事典	今泉忠明監修	高橋書店
480	続・続々・さらに・もっとざんねんないきもの事典	〃 （合計4冊）	〃
489.87	キリン解剖記	郡司 芽久	ナツメ社
589.215	あの日、好きになって470日	重川 菜弥	扶桑社
674	傑作！広告コピー516	メガミックス編	文春文庫
726	チャレンジ ミッケ！おもちゃばこ	ウォルター・ウィック	小学館
726	〃 ゆめのまち	〃	〃

726.1	ちはやふる 3 1～4 0	末次 由紀	講談社
726.1	もしものせかい	ヨシタケシンスケ	赤ちゃん和妈妈社
726.507	イラスト解体新書	ダテナオト	マイナビブックス
767.8	すみれの花咲く頃、矢車菊の花咲く時	三木原 浩史	鳥影社
767.8	ジャニーズは努力が 9 割	霜田 明寛	新潮新書
788.3	地上最強の男	百田 尚樹	新潮社
798.3	NEW タイムトラベラー ウォーリーをおえ！	マーティン・ハットフォード	フレーベル館
798.3	NEW ウォーリーをさがせ！	〃	〃
814.9	<役割語>小辞典	金水 敏	研究社
913.6	逃亡者	中村 文則	幻冬舎
913.6	四畳半タイムマシンブルース	森見 登美彦	KADOKAWA
913.6	マラン・カラン：二十三時の夜食カフェ	古内 一絵	中央公論新社
913.6	女王様の夜食カフェ	〃	〃
913.6	きまぐれな夜食カフェ	〃	〃
913.6	さよならの夜食カフェ	〃	〃
913.6	medium 霊媒探偵城塚翡翠	相沢 沙呼	新潮社
913.6	いぬの日	倉狩 聡	角川ホラー文庫
913.6	ある日犬の国から手紙が来て	田中マルコ他	小学館ジュニア文庫
913.6	幼女戦記 1. 2	カルロ・ゼン	KADOKAWA
913.6	ぬけまいる	朝井 まかて	講談社文庫
913.6	小説伊勢物語 業平	高樹 のぶ子	日本経済新聞出版
913.6	渦 UZU	大島 真寿美	文藝春秋社
913.6	少年と犬	馳 星周	〃
913.6	夜がどれほど暗くても	中山 七里	角川春樹事務所
913.6	ヒポクラテスの試練	〃	祥伝社
913.6	マカロンはマカロン	近藤 史恵	創元推理文庫
913.6	逆ソクラテス	伊坂 幸太郎	集英社
916	疫病 2020	門田 隆将	産経新聞出版
929.13	82 年生まれキム・ジョン	チョ・ナムジュ	筑摩書房
930.278	ジョージ・オーウェル	川端 康雄	岩波新書
936	スノーデン独白 消せない記録	エドワード・スノーデン	河出書房新社
933・7	天国からはじまる物語	セヴィン・ガブリエル	理論社

ヒヤハーツ！ まいった！

皆さんの憩いの場であるべき図書館なのに、8月の上げつない暑さの中、クーラーが壊れてしまってぜんぜん快適ではありませんでした。(泣) 9月に入っても、むんむん暑い日が続いています。(いや、ちょっと涼しくなってきた??)

そんな中、課題の出ているテーマの本を探し回る生徒がおる！ でも、ないので(泣) 図書館として事前に教科と相談してテーマの本の充実を図っていかねばならないなと痛感しています。リクエスト本も毎日受け付けています。秋を感じる今日この頃、図書館をうまく活用してください。来てね～



## 分類番号って何？

図書館では、背ラベルに分類番号をつけることで、本がテーマ順に並ぶようにしています。

では、分類番号はどのように付けているのでしょうか？

分類番号は「日本十進分類表（NDC）」を基礎にして各図書館で基準をつくって付けています

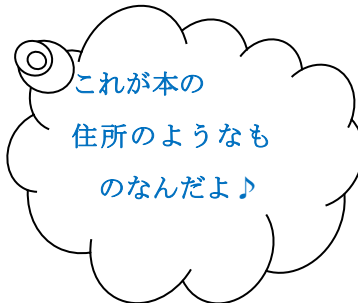
【分類番号】は、図書に貼ってあるラベルの一番上の行に記載されています。（真ん中の行には、著者名の頭文字が記載してあります。また、一番下の行に数字が記載してある場合もありますが、その場合の数字は全集などの巻数を表します。）

書架には、同じ分類番号でも著者の名字の50音順に並べています。

093.25
ヤ

< NDC（日本十進分類法）の一部（二次区分まで） >

一次区分	二次区分
0 総記	30 社会科学
1 哲学	31 政治
2 歴史	32 法律
3 社会科学	33 経済
4 自然科学	34 財政
5 技術	35 統計
6 産業	36 社会
7 芸術	37 教育
8 言語	38 風俗習慣・民俗学
9 文学	39 国防・軍事



本の分類の方法ですが、図の一次区分を見て下さい。まずすべての知識の総体を9つに分けて“1”から“9”の数字を割り当てます。この一次区分を覚えていると本をさがすとき便利です。そして、どこにも当てはまらないもの、あるいは全分野を扱うもの、たとえば百科事典なんかは“0”に分類されます。こうして分けたものをさらに9つに分けます。たとえば「3社会科学」を見てみます。これが二次区分です。これよりさらに細かく分かれています。そこまで覚える必要はありません。分類番号の先頭の数字だけわかってるだけで十分！文学の9は910が日本、920が中国というように9の次にくる番号で国がわかるようになっています。詳しく知りたい人はカウンターの表を一度みてください。

本を探すときの参考にしてね。



## ●マラン・カラン 二十三時の夜食カフェ

古内 一絵(著)

中央公論新社

ささくれだった心を癒してくれる本。こんなお店があったら行きたいなあ。「女王様の夜食カフェ」「きまぐれな夜食カフェ」「さよならの夜食カフェ」も同時に入りました。コロナで大変な世の中、店主のシャルさんなら、こんな時どう言うのかななんて考えてしまいます。生徒リクエスト本です。

## ●少年と犬

馳 星周(著)

文藝春秋社

★直木賞受賞作品★

2011年秋、仙台。震災で職を失った和正は、認知症の母とその母を介護する姉の生活を支えようと、犯罪まがいの仕事をしていた。ある日和正は、コンビニで、ガリガリに痩せた野良犬を拾う。多聞という名らしいその犬は賢く、和正はすぐに魅了された。その直後、和正はさらにギャラのいい窃盗団の運転手役の仕事を依頼され、金のために引き受けることに。そして多聞を同行させると仕事はうまくいき、多聞は和正の「守り神」になった。だが、多聞はいつもなぜか南の方角に顔を向けていた。多聞は何を求め、どこに行こうとしているのか……犬を愛するすべての人に捧げる感涙作!

## ●逆ソクラテス

伊坂 幸太郎(著)

集英社

逆転劇なるか!? カンニングから始まったその作戦は、クラスメイトを巻き込み、思いもよらぬ結末を迎える——「逆ソクラテス」 / 足の速さだけが正義……ではない? 運動音痴の少年は、運動会のリレー選手にくじ引きで選ばれてしまうが——「スロウではない」 / 最後のミニバス大会。五人は、あと一步のところまで、“敵”に負けてしまった。アンハッピー。でも、戦いはまだ続いているかも——「アンスポーツマンライク」  
ほか、「非オプティマス」「逆ワシントン」——書き下ろしを含む、無上の短編全5編を収録。

## ●四畳半タイムマシンブルース

森見 登美彦(著)

KADOKAWA

炎熱地獄と化した真夏の京都で、学生アパートに唯一のエアコンが動かなくなった。妖怪のごとき悪友・小津が昨夜リモコンを水没させたのだ。残りの夏をどうやって過ごせというのか? 「私」がひそかに想いを寄せるクールビューティ・明石さんと対策を協議しているとき、なんとともモッサリした風貌の男子学生が現れた。なんと彼は25年後の未来からタイムマシンに乗ってやってきたという。そのとき「私」に天才的なひらめきが訪れた。このタイムマシンで昨日に戻って、壊れる前のリモコンを持ってくればいい! 小津たちが昨日の世界を勝手気ままに改変するのを目の当たりにした「私」は、世界消滅の危機を予感する。『四畳半神話大系』と『サマータイムマシン・ブルース』が悪魔合体?

小説家と劇作家の熱いコラボレーションが実現!

## ●疫病2020

門田 隆将(著)

産経新聞出版

本書は「この星を支配し続ける人類を脅かす最大の敵はウイルスである」というノーベル生理学・医学賞受賞者ジョシュア・レダーバーグの言葉から始まる。読み進むにつれ、読者の胸にその意味が迫ってくるだろう。武漢でいち早く“謎の肺炎”をキャッチした二人の医師の運命、翻弄される武漢市民、動き出す共産党の規律検査委員会、そして警察の公安部門。彼らはなぜ肺炎の発生を隠そうとしたのか。筆者は現地の状況をつぶさに分析しながら、その秘密を暴いていく。武漢に派遣された現役の中国人医師が明かす医療最前線は驚愕の連続だった。暗中模索の中、信じられない方法で医師たちは謎の病と戦った。中国人を救った「5種類の薬品」とは何か。なぜ中国はこの病を克服できたのか。一方、後手、後手にまわる日本と、いち早く的確な対策で国民の命を救った台湾——両者の根本姿勢の違いは、時間が経過するにつれ、信じがたい「差」となって現われてくる。官邸・厚労省はなぜ国民の期待を裏切ったのか。迷走する安倍政権は緊急経済対策でも国民の期待に応えられなかった。苛立った日本最大の圧力団体の“絶対権力者”が動き、あり得ない逆転劇が起こったことを日本のジャーナリズムは全く報じなかった。その裏舞台が初めて白日の下に晒される。